

# BOX



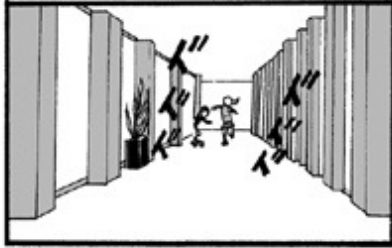
ユ一キ 恵思

# BOX

---



**YUKI  
KEGO**





実力行使♥



本当  
しつこい  
連中だね

どーすんのよ  
この状況！



はははっ  
大成功だね！



すごい効果…  
噂以上だわ…でも

おっ  
まだ新手が  
いるね！  
逃げるよ！



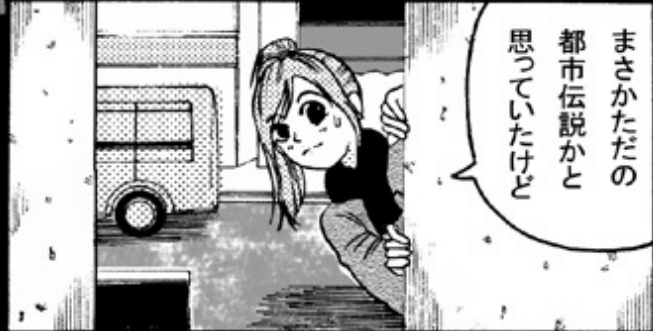
どう  
信用した？  
BOXの威力



やっぱり  
こんな変人に  
頼むんじゃ  
なかった!



2日前



まさかたの  
都市伝説かと  
思っていたけど



不思議な箱を  
届けるメッセンジャー  
「トイ」...

やっと  
見つけたわ



お願いトイ  
お礼はしっかり  
するわ!!

サクラ クルミ  
咲倉 来実  
職業:女子高生

父のBOXを  
取ってきて  
欲しいの!!



.....



おおっ!



今だ!!



ハコサキ トイ  
箱崎 通意  
職業:メッセン  
ジャー

やだ!



え?



どんな依頼も  
引き受けるって  
いうから  
捜し出したのよ!!

**クッ**

どーゆーこと!  
あんた人の心を  
箱に詰めて  
届けられるん  
じゃないの!?

ツカ  
ツカ



おうしく  
たすいし  
じゃあか



引き受けるのは  
スリルとドラマがある  
依頼のみ

だから中年親父の  
BOX取りなんて  
簡単すぎて  
やる気になんか

分かった?



ちがうよ

へ?



私の父親は  
スターのボーカル  
「ジキル」よ!!



全然簡単じゃ  
ないわ!!

え?







BEFORE

元はこーんな  
サエない顔して  
いるくせにー



AFTER

人気が出た  
からって  
調子に乗って!



実年齢 42才!!  
それが本当の  
あいつよ!!

話題作りのため  
とはいえ20才  
近くもサバよんで  
いるのよ!!



それに最近  
様子が  
おかしいの!!



たまの電話も  
全く要領を  
得ないの...

何か怪しいこと  
裏でやってるのかも  
しれないわ!

何なのよ!!



事務所の前には  
熱狂的なファンが  
いて近づけないし



家に戻ってくる  
ことなんてほとんど  
なくなったし





にしても  
.....



警備員の次は  
ファンの集団……  
凄い人気だね

言ったでしょ  
異常よ異常!



しかも中には  
「ジキル」を神格化  
するコアな奴らも  
いるらしいの

いつでも  
「ジキル」の周りを  
固めてて  
普段は一般の  
ファンも近づけない  
らしいわ……



だから気をつけて  
へたな警備員より  
よっぽどタチ悪い  
わ!

もし捕まり  
でもしたらー

あ!



たまんねえ♡



昔からそーゆー  
危険とかピンチが  
大好き  
なんだろ!

逆境でも乗り越え  
てしまっておれ!  
最高だ♡



コイツどーにかしてー!!



そーと分かればこっちから!

わらっ!  
やめてっ!!

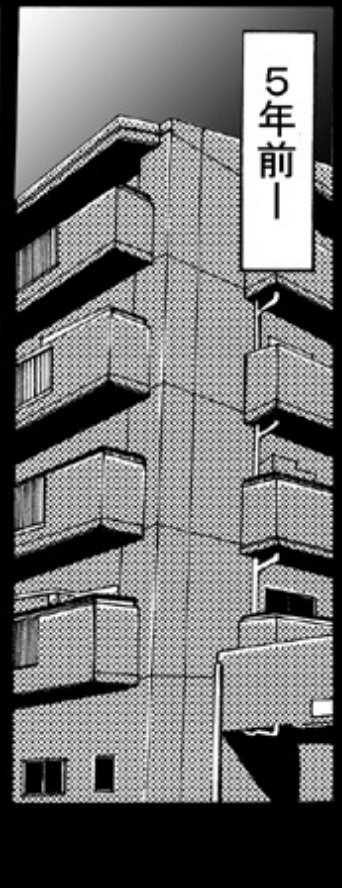


それもこれも!

元は全部父さんのせいよっ!!



ねえ!  
止めてよ  
お父さん!



5年前!



うん?



今さら  
ヴィジュアル系に  
転向なんて無理よ!!

10歳って  
何言ってるのよ!!!





父さん  
音楽が  
好きなんだ

カッコ悪くても  
いいんだ…

え？



—とっこ  
どーしようも  
ない馬鹿!!

おい

分かってくれ  
来実…



もうとっくに  
囲まれてる  
けど

げっ!



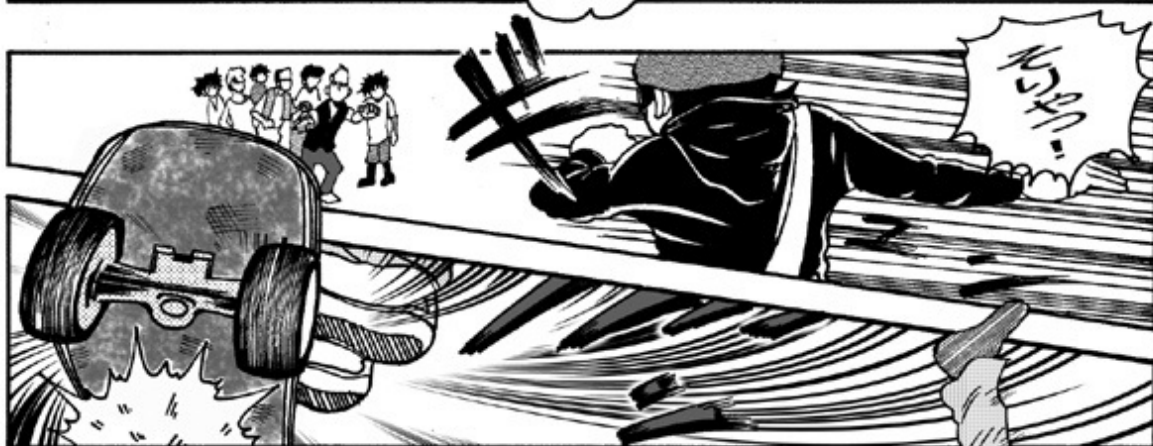
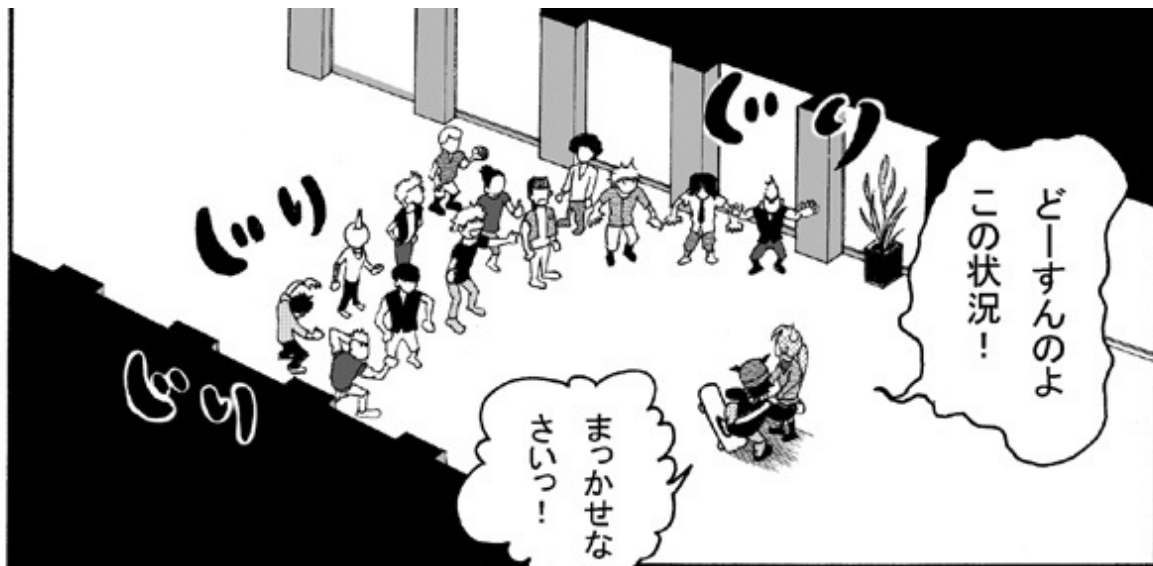
そーゆー  
ことはもっと  
早く言いな  
さいよ!!

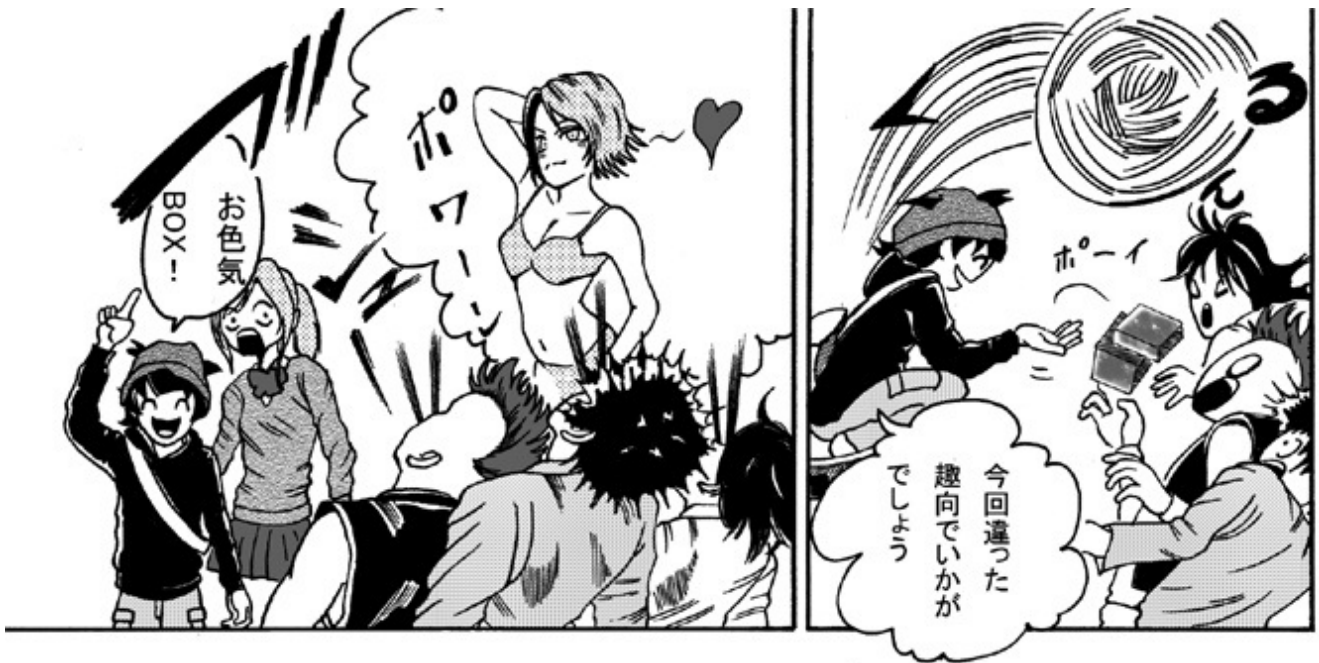
だって  
自分の世界に  
入っちゃって  
るんだもん



もし  
もし  
もし!

なに















来実君だったね…  
元々僕らは君を  
探していたんだ…



フッフ…



BOXをえ奪って  
しまえば  
君はただのチビ  
だね…

どーゆーことよ  
いったいっ！

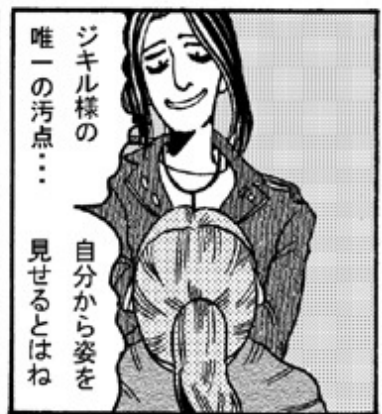


…  
バツカッじゃないの  
…



彼は神だ…  
神に子供など必要  
ない！  
ボクが君を  
消すことで—

彼はさらに  
高みへ登る！

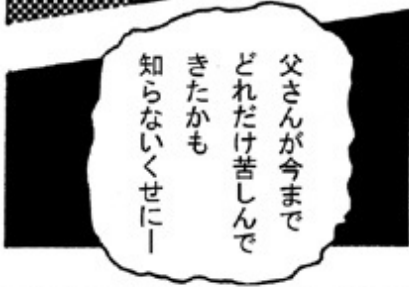


ジル様  
唯一の汚点…  
自分から姿を  
見せるとはね



そう！ ボクは  
彼を完璧な  
存在へ押し  
上げる者！

「彼の半身  
「ハイド」なんだ  
はははははっ！！





黙れ！



彼をお父さん  
などと軽々し  
く呼ぶな！

お前みたいな奴が  
一番嫌いだ…



はい、そこまで！

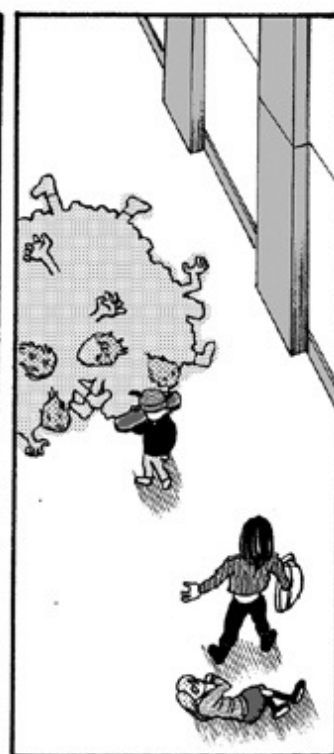
彼はお前の父  
なんかではなく  
今やポクラフマンの  
ものなんだよ！！

認める！  
彼はお前より  
音楽を取った  
んだ…



「お父さん」だと？  
笑わせるな…

お前と彼の間は今  
どんな親子関係が  
あると言うんだ？





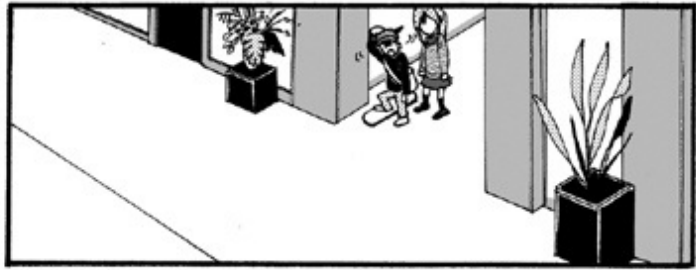


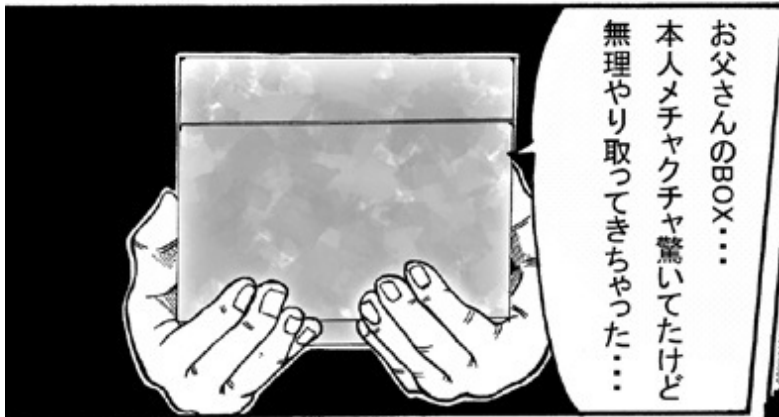
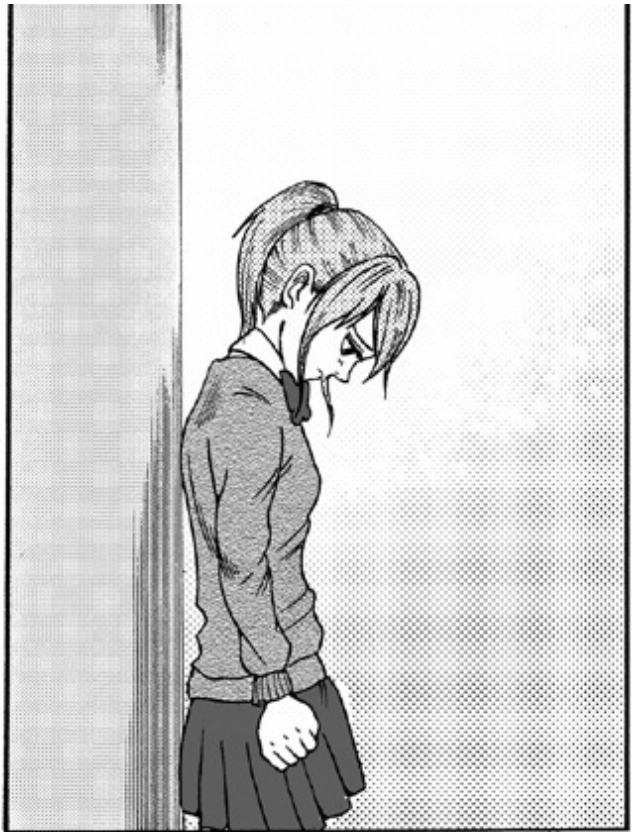


あなたなかなか  
おもしろい性格  
してたけど...











見えないの…

BOXを

開けても!!

何も見えて  
こなかった!!!

うっ…

うっ…

ごめんトイ…  
父さんの秘密を暴きたい  
なんてテタラメなの…

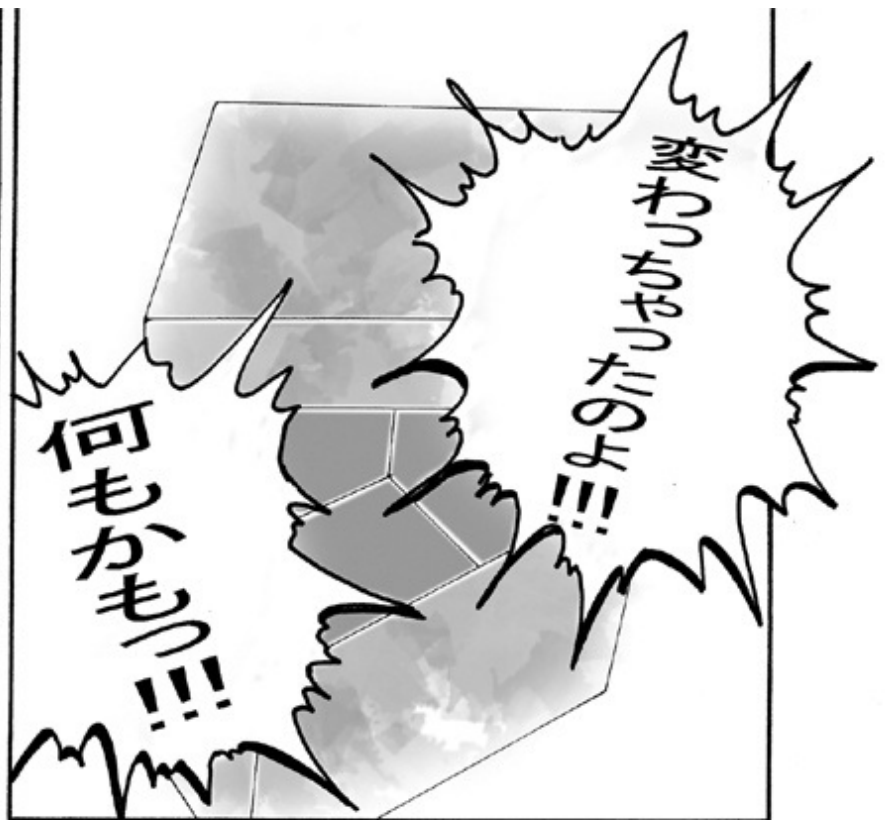
私ただ知りたかつ  
ただけ

父さんが私のこと  
どう思っているのか—  
…BOXを使えば  
本音が分かるか  
と思ったの…

だって…



父さんがどれだけ音楽を愛しているかなんて私が一番分かっているわ!



何かもっ!!!

変わっちゃったのよ!!!



いろいろな人に  
変えられていって  
しまうようで...

いつも私の側で  
笑っていた父さんが



だから父さんが  
成功していく姿は  
恥ずかしかったけど  
それ以上に嬉しかった!



—なのに、  
どんどん遠くに  
行っちゃうんだもん



心の中にはまだ  
私がいるって...  
でも—

父さんは父さんの  
ままだって...



確かめたかった!



見えるはずないよ

私の事なんて  
何も  
見えなかった……



へ？



んんん



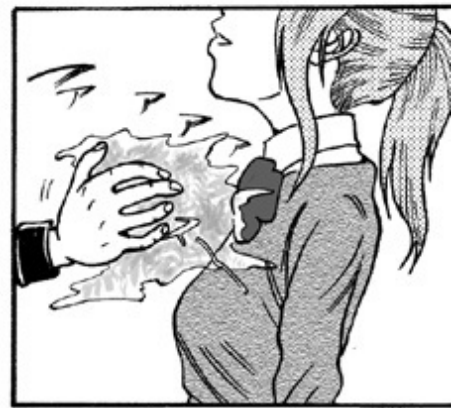
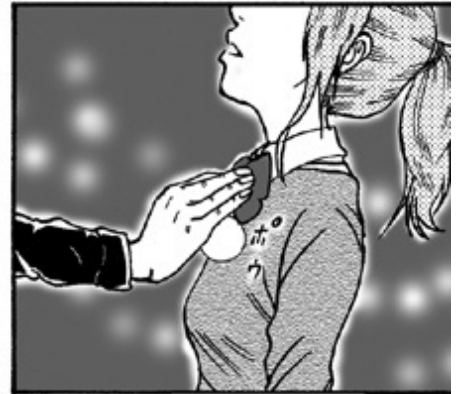
だって  
その箱ー

ただの  
箱だもん！

ど

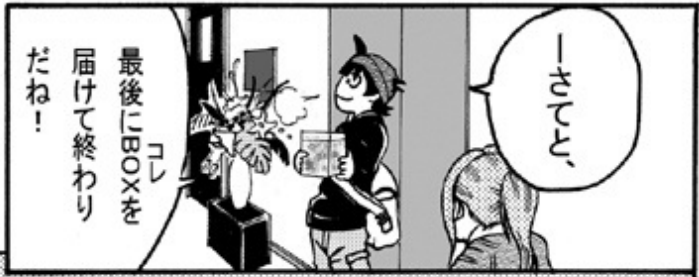
ん

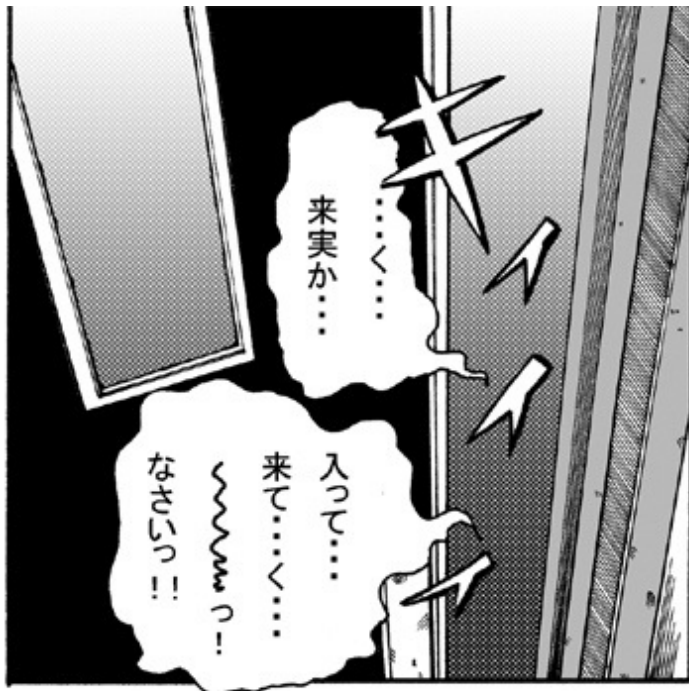




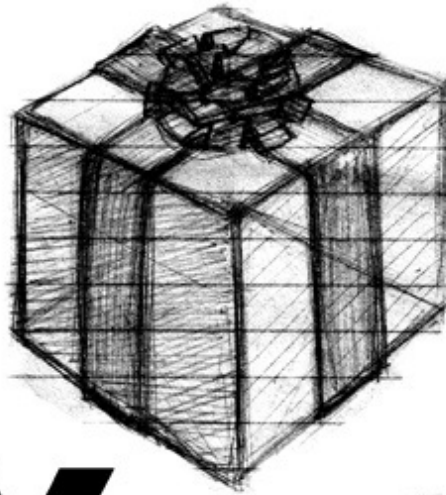
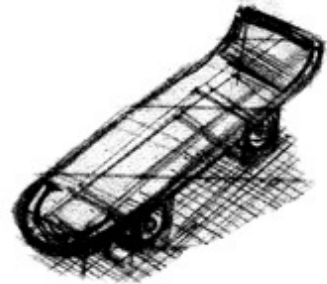
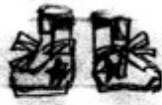
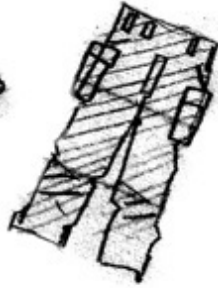




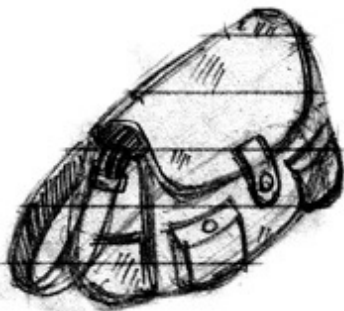




# TOY'S



# BOX



BOX

<http://p.booklog.jp/book/22885>

著者：ユーキ恵児

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yuki6329/profile>

発行所：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/22885>

ブックログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/22885>